

2024年度大阪府訪問看護実践研修事業 教育ステーション事業 実践報告

豊能ブロック

アーチ訪問看護ステーション

岩田 綾香



～2024年 事業目標～

1. 多職種向けACP研修を成功させ地域での定着を促進する

2. 在宅看護を実践する仲間と顔見知りの関係を作る

3. 地域との繋がりを作る

◎「人生会議(ACP)」支援実践人材育成研修

開催日:10月5日(土)

場所:北斗会看護専門学校3階講堂

目標人数:50名

参加人数:48名

講義(動画)の後、グループワーク
(ファシリテーター10名)

参加職種:

ケアマネジャー33%、看護師33%、
セラピスト17%、介護士11%、
事務職2%、社会福祉士2%、薬剤師2%

アンケート回収率:100%

2024年度 大阪府訪問看護実践研修事業 教育ステーション事業
「令和6年度大阪府人生会議相談対応支援事業」
一般社団法人 大阪府訪問看護ステーション協会
豊能ブロック教育ステーション
アーチ訪問看護ステーション

「人生会議(ACP)」の実践に必要な基本的概念や知識・方法がわかる

「人生会議(ACP)」
支援実践人材育成研修のご案内

参加
無料

10.5 (土)
13:00~16:30

会場
北斗会看護専門学校 3F 講堂
※公共交通機関をご利用頂く近くのコインパーキングを
ご利用くださいようお願い申し上げます。

【定員】50名 ⇒定員超過の場合、受講者の調整をさせていただきます

【対象者】地域包括ケアシステムに関わる医療・介護・福祉専門職
(看護師、セラピスト、MSW、介護士、ケアマネジャー、医師、薬剤師、看護学生等)

【プログラム】
①講義:「人生会議(ACP)」支援実践人材育成研修(動画視聴)
⇒講師:濱吉 美穂 先生(佛敎大学 保健医療技術学部 看護学科 老年看護学領域)
②グループワーク(ロールプレイ)

お申込み方法
ご不明な点や分からないことがありましたら
下記メールアドレスにて対応しております
arch.houkan@gmail.com

目的
「地域包括ケアにおける医療・介護共有アドバンス・
ケアプランニングガイドラインの開発」や、「高齢者
施設スタッフの終末期ケアの質向上に向けたACP促
進プログラムの開発」などを行われている佛敎大学の
濱吉美穂先生の講義を聴講し、そのあとロールプレイ
を行う、ACPを実践できる人材育成のための研修会
です。

詳細は弊社ホームページにも掲載中です!

QRコードを読み取り
リフォームに必要事
項を記入の上、お申
込みください。

アーチ 訪問看護 豊中
お問い合わせ先:アーチ訪問看護ステーション
TEL:06-6151-5859 FAX:06-6151-5869

【開催側から】

今年度の研修は多職種を対象に開催
グループワークでは関心高く取り組まれている姿が印象的

【アンケート結果】

- ・他職者の意見に気付きが多かった
- ・受講前後でACPのイメージが変わった 87%
- ・サービス担当者会議にACPを交えていきたい
- ・多職種それぞれの視点と強みで利用者を支えていきたい
- ・受け身の攻めという言葉がすごく響いた
- ・ACPとは何なのかを考えた

<振り返り>

- ・研修のタイムスケジュールをファシリテーターへ配布出来ていなかった
- ・参加者名やグループ分けの一覧表をファシリテーターへ配布出来ていなかった
- ・ギリギリまで募集人数に達しなかった
- ・ファシリテーター10名がなかなか決まらず焦ってしまった

<課題>

- ・準備物を揃えることで円滑に研修を進める
- ・協力ステーション等の力を借りて集客活動を早期に取り組む
- ・ファシリテーター、実践者の質の向上

◎ワールドカフェ形式研修　かんごのおしごと

開催日:11月9日(土)　13:00～17:00自由参加

場所:地域共生センター3階

目標人数:50名　参加人数:16名

受付時間を設けず自由参加

1時間毎にテーマの設定、グループ編成を行い全員と話ができるよう考えた。

テーマ

- ①看護師の仕事をするうえで大切にしていること
- ②ストレスの発散方法
- ③在宅に関わる看護師同士が顔見知りになる方法
- ④職場で感じる世代間ギャップ

<参加者職種>

訪問看護85.7% 通所系7.1% 外来7.1%

<参加動機>

他事業所の話が聞いてみたかった
訪問看護ステーションと話がしてみたかった

<参加した感想>

研修ではなく気軽に参加できるのが良かった
ストレス発散になった
意見交換ができてよかった

<今後参加したいと思う研修>

ハラスメント
ワールドカフェ
具体的なケア
事例検討

2024年度 大阪府訪問看護実践研修事業 教育ステーション事業
一般社団法人 大阪府訪問看護ステーション協会
豊能ブロック教育ステーション アーチ訪問看護ステーション

ワールドカフェ形式研修

かんごのおしごと

地域共生センター
3階

開催場所が
決まりました!



介護・看護の現場で働く看護師同士、
まずは顔見知りの関係を作りませんか？

日時 11/9(土) 13:00~17:00
参加可能な時間から大丈夫です♥お気軽にご参加ください。

申込 申し込みフォームは
こちらから>>>



頼みやすい、頼まれやすい
そんな関係作りを♥

連絡先：06-6151-5859
アーチ訪問看護ステーション 岩田綾香

◎ 府民への相談支援事業 こんにちは訪問看護ステーションです

日時：10月27日(日)

これからも豊中でいきてゆくフェス

場所：豊中市岡町商店街

健康相談ブースを設けて

「こんなお悩み訪問看護にご相談ください！」
という作成したチラシを配布

参加者16名 チラシ配布数100枚



フェスには老若男女多世代で集まっていた
訪問看護ステーションを知っている人、
知らない人とに分かれていた

訪問看護の利用はどの世代にも
関係があるため、
何かあった時に困らないよう
引き続き広報活動は必要である

また、住民と身近に接することができるため
今後の課題を調査する機会にもなり得ると考える

2024年度 大阪府訪問看護実践研修事業 教育ステーション事業
一般社団法人 大阪府訪問看護ステーション協会 豊能ブロック教育ステーション アーチ訪問看護ステーション

大阪府訪問看護ステーション協会

こんなお悩み

訪問看護に
ご相談ください！

安心して
自宅で過ごす
アドバイスが
ほしい

病気や障害が
あって一人で
暮らすのは
不安がある

家族の介護の
不安や悩み、相談も
聞いて欲しい

最期まで
自宅で過ごしたい

家のお風呂に
入れるように
買い物に行けるように
リハビリしたい

家族に心配を
かけたくない

アーチ訪問看護ステーション
大阪府豊中市岡町2-19-101
06-6151-5859

アーチ訪問看護
ホームページ

◎訪問看護体験研修

・看護業務研修 6件

新設訪問看護ステーション管理者1名

訪問看護に挑戦したい看護師3名

病院からの研修1名

在宅での医療行為を体験したい1名

・管理者研修 3件

新設訪問看護ステーション管理者2名

今後訪問看護ステーション新設(管理者予定)希望者1名

◎電話FAX相談 Q&A事業

- ・相談実績 10件
- 訪問看護実務内容 2件
- 制度関係 6件
- 請求関係 2件
- 指示書関係 1件

医療・介護の同時改定の時期であり
相談は様々であった

2024年度大阪府訪問看護実践研修事業
教育ステーション「電話相談事業」

『電話・FAX相談』 開設しました！！

ケアマネジャー・その他専門職の皆様へ

下記の教育ステーションでは、訪問看護師が、ケアマネジャーさんや
その他専門職の皆様の医療・看護に関するご相談に対応しています。
どうぞお気軽にご活用ください！

実施期間 2024年5月～12月末まで実施中

相談内容 たとえば、こんな相談お受けします

- 訪問看護等の医療系サービスの導入方法
- 訪問看護や訪問看護に関する制度について
- 在宅療養に向けて必要となる医療的ケアや環境調整
- 他職種（医師等）とのスムーズな連携方法
- 利用者の医療ニーズのアセスメント
- 家族・介護者への介護指導や支援の必要性の判断…など

電話 **06-6151-5859**
「電話相談です」とお伝えください

FAX **06-6151-5869**
FAX相談用紙をご使用ください

相談
無料

返信に数日
頂くことも
あります

※ご相談内容は、事業報告書等に掲載する場合がございますが、ケアマネジャーの
皆様やご利用者様の個人情報が特定できる形で公表することは一切ございません。

アーチ訪問看護ステーション

(豊能ブロック教育ステーション 相談担当：岩田綾香)

相談日 月～金曜日 8:30～17:30



～地域における協力体制～

協力ステーション 4事業所

協力ナース 1名

- ・協力ステーション・協力ナースについてどんな時に協力を依頼するべきかわからない事が多い1年だった
- ・地域(ブロック)では教育ステーション経験の諸先輩方が細かく声を掛けて下さり、悩みや不安を聞いて頂いた
- ・孤独にならないような支援を受け1年間の事業目標を達成できた
- ・今後の教育ステーション事業がブロック内で負担なく引継ぎできるよう取り組む必要がある

～目標の評価と今後の課題～

目標設定を基にできる限りの行動は行ったと思っていたが、振り返ると計画から行動までの時間、実際に想定した準備など反省点の方が多い。集客方法が一番課題となった。

協力ステーションや教育ステーション経験者はアナウンスの協力を得ることができたが、教育ステーションの理解が浅いところはチラシを回覧する程度にとどまっているようであった。

今回の目標の評価は次年度の課題として取り組んでいき、教育ステーションの担い手を増やしていきたい。

また、訪問看護・在宅看護を知ってもらい楽しさややりがいを発信することで人出不足の問題解決への糸口となれたらと考える。